

殺虫剤

カルホス[®] 粉剤

ネキリトン[®]K



日本曹達(株)農業化学品事業部 普及グループ

はじめに

カルホス粉剤およびネキリトンKは、イソキサチオンという有機リン系殺虫剤を有効成分とする土壌害虫防除剤です。イソキサチオンはきのこの1種、ハエトリシメジに含まれるトリコロミン酸のイソオキサゾール骨格に注目し種々の合成展開を経て三共株式会社(現三井化学アグロ株式会社)により開発されました。なお、現在イソキサチオン剤は保土谷UPL株式会社に権利譲渡されています。

イソキサチオン剤には他にカルホス乳剤、カルホス微粒剤Fがありますが、ここでは、上記2剤の特徴、使用方法等についてご紹介したいと思います。なお、カルホス乳剤、カルホス微粒剤Fに関しましては弊社刊行物、農薬時代第188号(2007、pp41~49)をご参照下さい。

【カルホス粉剤】

有効成分と製剤

成分：イソキサチオン 2.0%

その他鉱物質微粉等 98.0%

剤型：粉剤

性状：類白色粉末 45 μ m以下

安全性

人畜毒性 普通物

マウス急性経口毒性(LD₅₀)

♀ 3400mg/kg、♂ 3700mg/kg

ラット急性経口毒性(LD₅₀)

♀ 4000mg/kg、♂ 4300mg/kg

ラット急性経皮毒性(LD₅₀)

>20000mg/kg ♀、♂

皮膚刺激性 刺激性なし

眼刺激性 軽度の刺激性あり

皮膚感作性 陰性

【ネキリトンK】

有効成分と製剤

成分：イソキサチオン 0.50%

その他穀粉・色素等 99.5%

剤型：粒剤

性状：赤紫色粒状 粒径3mm 粒長2-10mm

安全性

人畜毒性 普通物

マウス急性経口毒性(LD₅₀)

>5000mg/kg ♀、♂

ラット急性経口毒性(LD₅₀)

>5000mg/kg ♀、♂

ラット急性経皮毒性(LD₅₀)

>5000mg/kg ♀、♂

皮膚刺激性 刺激性なし

眼刺激性 軽度の刺激性あり

皮膚感作性 陰性

上手な使い方

カルホス粉剤、ネキリトンKは、土壌中に潜み作物の地上部を加害するネキリムシ類や作物の種子・根部を加害するタネバエやコガネムシ類幼虫に卓効を示す防除剤です。また、一般の有機殺虫剤と比較して、イソキサチオンは浸透移行性および揮散活性がないた

め、本剤を上手にお使い頂くためには害虫との接触(食)の機会を増やすように①土壌とよく混和する②作

条よりも全面混和(以上、カルホス粉剤)③株元処理(ネキリトンK)を心掛けて下さい。

土壌表面散布・混和处理(粉剤)

ガス効果が低く、水に溶けないので、生息深度が深い害虫には混和が良い。



ネキリムシ類



タネバエ



ドウガネブイブイ幼虫



コガネムシ類幼虫

表層混和(5cmまで混和)

＜作条処理・植穴処理・播溝処理を含む＞

- タネバエ(4～6kg/10a)
- ネキリムシ(4～9kg/10a)
- コガネムシ類幼虫(9kg)

基肥位置混和

(ドウガネブイブイ)

- 植付時に幼虫が生息しない作物
(かんしょ、9kg/10a)
- 被害が激しい時は成虫の産卵飛来期の
地表面散布との体系処理をする

いちご仮植床混和

(コガネムシ類幼虫)

- 植付時に幼虫が生息する作物
いちご仮植床、ヒメコガネが加害する
春作物(9kg/10a)

登録内容と使用上の注意

カルロス粉剤(第13290号)の適用と使用方法

平成21年8月末現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	
だいこん はつかだいこん	ネキリムシ類	6kg/10a	は種時	1回	土壌表面散布 土壌混和处理	1回	
はくさい キャベツ			は種時又は 植付時	2回以内		4回以内 (は種時は1回 以内、植付時は 1回以内、植付 後は2回以内)	
ねぎ							
わけぎ あさつき レタス 非結球レタス トマト ミニトマト なす							
きゅうり							
ほうれんそう	タネバエ	4～6 kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回	
なばな類 (オータムポエムを除く)	ヨトウムシ類	6 kg/10a			定植時		土壌表面散布 土壌混和处理
オータムポエム	ネキリムシ類		土壌表面散布				
ほうきぎ		株元散布					
いちご (仮植床)	コガネムシ類幼虫	9 kg/10a	植付時				土壌表面散布土壌 混和处理
うど	センノカミキリ	6 kg/10a	成虫飛来 初期～盛期	5回以内	散布	5回以内	
だいず	タネバエ	4～6kg/10a	は種時	1回	作条施用 土壌混和	2回以内	
	ネキリムシ類	4 kg/10a	は種時又は定植時 は種時～ 本葉2葉期	2回以内	土壌表面散布		
えだまめ	タネバエ ネキリムシ類	4～6kg/10a	は種時	1回	作条施用 土壌混和	5回以内 (粉剤及び粉粒剤 のは種時の処理は 合計1回以内、粉 剤及び粉粒剤の、 定植時は合計1回 以内、粉剤の土壌 表面散布は1回以 内、粒剤の土壌表 面株元処理は2回 以内))	
	ネキリムシ類	4 kg/10a	定植時 は種時～ 本葉2葉期		土壌表面散布		
豆類 (種実、ただし、だいずを除く)	タネバエ ネキリムシ類	4～6 kg/10a	は種時		1回	作条施用 土壌混和	1回
さやえんどう	コガネムシ類幼虫	9 kg/10a					
さやいんげん	タネバエ	6 kg/10a					
実えんどう	コガネムシ類幼虫	9 kg/10a	挿苗前	挿苗前に畦内の元 肥位置に散布し、 土壌混和处理		4回以内 (挿苗前 の土壌混和は1回 以内、散布は3回 以内)	
かんしょ	ドウガネブイブイ幼虫						
たばこ	ネキリムシ類	6～9kg/10a	植付前		土壌表面散布 土壌混和处理	2回以内	

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む 農薬の総使用回数
はくさい	コオロギ類	3 kg/10a	は種時又は定植時 ～生育初期但し、 収穫 14 日前まで	1 回	土壌表面 株元処理	1 回
キャベツ だいこん はつかだいこん	ネキリムシ類		は種時又は 定植時			4 回以内
ブロッコリー			定植時～ 生育初期但し、 収穫 14 日前まで	2 回以内		
レタス			は種時又は 定植時～生育初期 但し、収穫 21 日前まで			1 回
非結球レタス			は種時又は定植時	2 回以内		
なばな			発芽期まで			5 回以内 (粉剤及び粉粒剤のは種時の処理 は合計 1 回以内、 粉剤及び粉粒剤の定植時は合計 1 回以内、粉剤の土壌表面散布は 1 回以内、粒剤の土壌表面株元処理 は 2 回以内)
だいず			は種時～本葉 2 葉期	2 回以内		
えだまめ			収穫 21 日前まで			1 回
いちご			ハスモンヨトウ	収穫前日まで		
葉ごぼう	ネキリムシ類		は種時～子葉展開期	4 回以内		4 回以内
ごぼう さといも			収穫 14 日前まで			2 回以内
かぶ			収穫 30 日前まで	4 回以内		
ねぎ						4 回以内
にんじん			発芽期～生育初期 但し、収穫 14 日前まで	1 回		
えごま (種子)			定植時			株元処理
たばこ			植付時			

また、使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めてお使いになる場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

おわりに

1972年カルホス乳剤の上市以来、カルホス粉剤およ

びネキリトンKは土壌害虫類(ネキリムシ類、タネバエ等)に優れた効果を示すことから、30年以上にわたりご利用いただいております。今後ともイソキサチオン剤の特性をご理解のうえ適切にご使用いただき、皆様方のお力になれば幸いと考えております。